

東北地方 1 か月予報

(1 1 月 1 5 日から 1 2 月 1 4 日までの天候見通し)

平成 2 0 年 1 1 月 1 4 日
仙台管区气象台発表

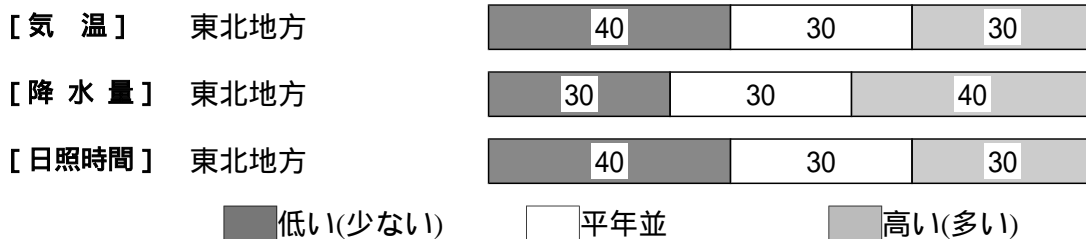
< 予想される向こう 1 か月の天候 >

向こう 1 か月の出現の可能性が最も大きい天候と特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。
天気は数日の周期で変わるでしょう。東北日本海側は平年に比べて曇りや雨または雪の日が多く、東北太平洋側は平年に比べて晴れの日が少ない見込みです。

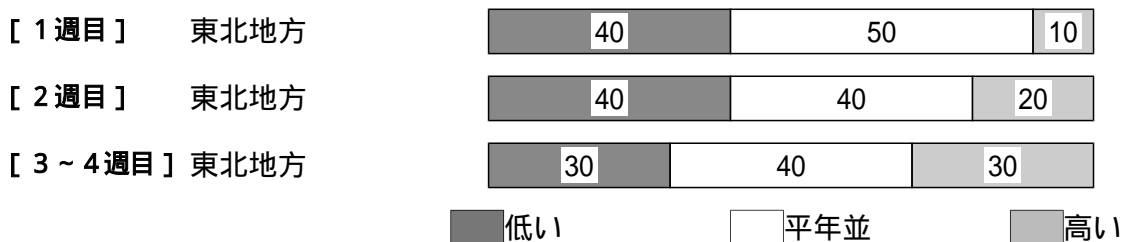
期間の前半は一時強い寒気の影響を受けるでしょう。

週別の気温は、1 週目は平年並の確率が 5 0 %、2 週目は平年並または低い確率がともに 4 0 %です。

< 向こう 1 か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率 (%) >



< 気温経過の各階級の確率 (%) >



< 予報の対象期間 >

1 か月 : 1 1 月 1 5 日 (土) ~ 1 2 月 1 4 日 (日)
1 週目 : 1 1 月 1 5 日 (土) ~ 1 1 月 2 1 日 (金)
2 週目 : 1 1 月 2 2 日 (土) ~ 1 1 月 2 8 日 (金)
3 ~ 4 週目 : 1 1 月 2 9 日 (土) ~ 1 2 月 1 2 日 (金)

< 次回発表予定等 >

1 か月予報 : 毎週金曜日 1 4 時 3 0 分 次回は 1 1 月 2 1 日
3 か月予報 : 1 1 月 2 5 日 (火) 1 4 時

< 参考資料（平年並の範囲等） >

（１）30 年平均値（向こう 1 か月の平均気温、降水量、日照時間と 1 週目、2 週目、3 ～ 4 週目の平均気温）

	気 温 ()	降 水 量 (mm)	日照時間 (時間)	気 温()		
				1 週目	2 週目	3 ～ 4 週目
青森	3.8	141.2	66.2	5.9	4.6	2.8
深浦	4.9	149.8	46.2	6.9	5.6	3.8
むつ	3.7	111.4	82.5	5.7	4.5	2.6
八戸	4.1	50.8	126.1	6.1	4.8	3.1
秋田	5.2	187.4	59.0	7.1	5.8	4.1
盛岡	3.2	83.6	102.8	5.1	3.9	2.2
大船渡	5.8	71.8	133.0	7.8	6.5	4.9
宮古	5.4	64.8	143.9	7.3	6.1	4.4
仙台	6.7	43.1	136.7	8.7	7.3	5.7
石巻	5.8	42.6	145.5	7.8	6.5	4.8
山形	4.7	79.4	86.3	6.7	5.3	3.8
新庄	3.8	205.7	44.3	5.8	4.5	2.8
酒田	6.6	232.7	54.9	8.5	7.3	5.7
福島	6.5	46.6	125.3	8.5	7.1	5.5
若松	4.4	79.6	75.3	6.5	5.0	3.3
白河	5.1	47.2	150.1	7.1	5.7	4.1
小名浜	8.4	65.8	168.8	10.3	9.0	7.3

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にしてください。

（２）1971 ～ 2000 年のデータに基づいた向こう 1 か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差（比）の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差()	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.6 ～ +0.7	81 ～ 104	97 ～ 105
東北日本海側	-0.6 ～ +0.6	89 ～ 107	94 ～ 106
東北太平洋側	-0.6 ～ +0.7	65 ～ 103	95 ～ 105

（３）この予報期間の 1 週目、2 週目、3 ～ 4 週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1 週目	2 週目	3 ～ 4 週目
東北地方	-0.6 ～ +0.6	-0.6 ～ +0.6	-0.5 ～ +0.7
東北日本海側	-0.6 ～ +0.7	-0.7 ～ +0.6	-0.5 ～ +0.7
東北太平洋側	-0.6 ～ +0.7	-0.6 ～ +0.6	-0.5 ～ +0.7

< 参考資料（利用上の注意） >

（１）気温（降水量）等は、「低い（少ない）」「平年並」「高い（多い）」の 3 つの階級で予報します。階級の幅は、1971 ～ 2000 年の 30 年間に於ける各階級の出現率が等分（それぞれ 33 %）となるように決めてあります（気候的出現率と呼びます）。

（２）予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった 10 % 以下や 60 % 以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度（30 %、40 %）の確率しか付けられません。

（３）晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い（少ない）場合は「平年に比べて多い（少ない）」、また平年の日数と同程度に多い（少ない）場合には「平年と同様に多い（少ない）」と表現します。なお、単に多い（少ない）と表現した場合には対象期間の 2 分の 1 より多い（少ない）ことを意味します。

東北地方 1 か月予報解説資料

平成 20 年 11 月 14 日 仙台管区気象台

1. 出現の可能性が最も大きい天候

向こう 1 か月（11 月 15 日～12 月 14 日）：

天気は数日の周期で変わるでしょう。東北日本海側は平年に比べて曇りや雨または雪の日が多く、東北太平洋側は平年に比べて晴れの日が少ない見込みです。

期間の前半は一時強い寒気の影響をうけるでしょう。

平均気温は各階級の確率の偏りは小さい。

1 週目（11 月 15 日～11 月 21 日）：

明日（15 日）は高気圧におおわれておおむね晴れますが、その後は気圧の谷や寒気の影響で曇りや雨となり、東北北部を中心に雪の降る所もあるでしょう。東北太平洋側は、期間の終わりは晴れる所もある見込みです。

また、気温の変動が大きい見込みです。

平均気温は平年並の確率が 50% です。

2 週目（11 月 22 日～11 月 28 日）：

気圧の谷が数日の周期で通過し、気圧の谷の通過後は一時冬型の気圧配置となるでしょう。東北日本海側は平年と同様に曇りや雨または雪の日が多く、東北太平洋側は平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

平均気温は平年並または低い確率がともに 40% です。

3～4 週目（11 月 29 日～12 月 12 日）：

天気は数日の周期で変わるでしょう。東北日本海側は平年に比べて曇りや雨または雪の日が多く、東北太平洋側は平年に比べて晴れの日が少ない見込みです。

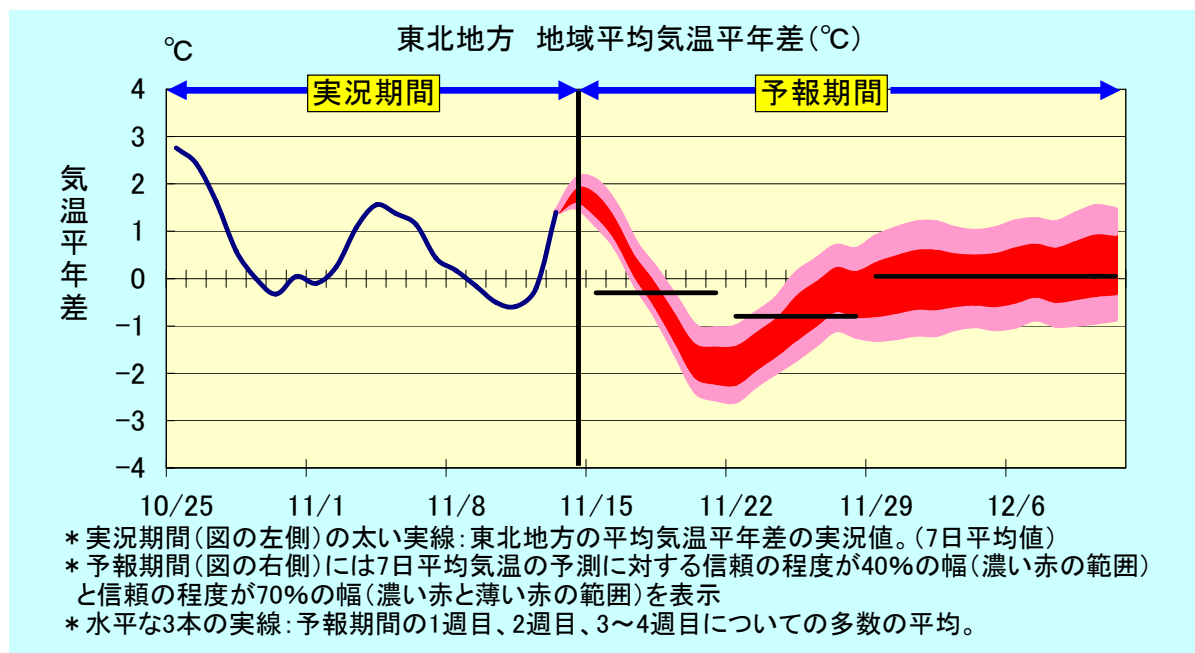
平均気温は各階級の確率の偏りは小さい。

平年の晴れ日数

	向こう 28 日間	1 週目	2 週目	3～4 週目
東北日本海側	6.0 日	1.8 日	1.7 日	2.5 日
東北太平洋側	16.2 日	3.9 日	4.1 日	8.2 日

2. 東北地方の平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別のアンサンブル平均気温は、1 週目、3～4 週目は平年付近、2 週目は平年を下回る予想となっている。

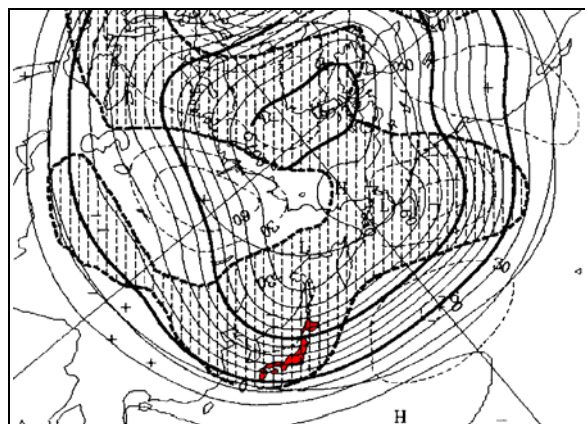


3. 1か月平均と1, 2週目の上空の大気の流れの予想 (500hPa 予想天気図)

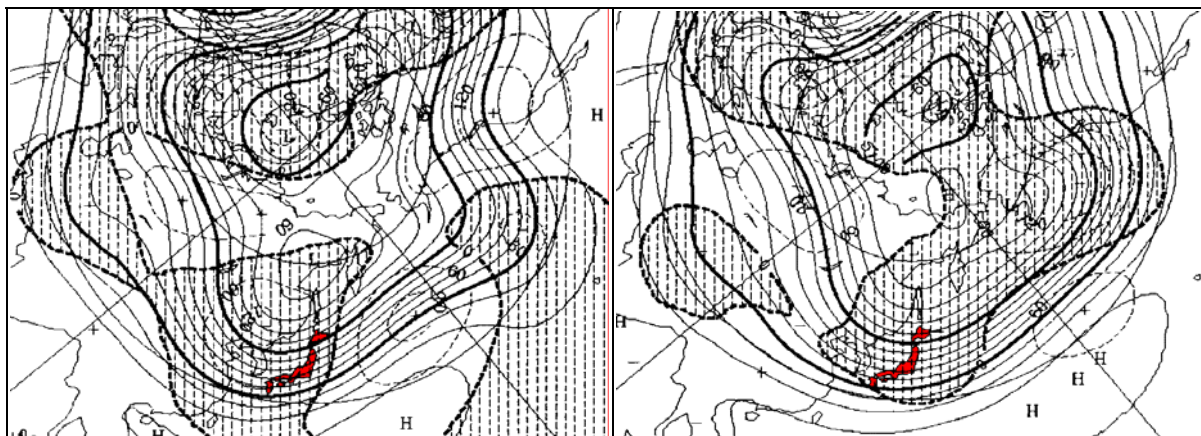
1か月平均: 高緯度帯と亜熱帯ジェット沿いにヨーロッパ付近からの波列が見られ、東アジア付近は日本の西に中心を持つ負偏差となる。西日本を中心に寒気の影響が見込まれる。

1週目: 高緯度帯でユーラシア大陸から太平洋にかけ波列が見られ、亜熱帯ジェット沿いでも波列が見られる。東アジア付近は中国東北区を中心とする負偏差となり、日本も負偏差。西日本を中心に一時強い寒気が南下する見込み。

2週目: 1週目と同様に高緯度帯と亜熱帯ジェット沿いにヨーロッパ付近からの波列が見られる。日本付近は負偏差となり、寒気の影響が見込まれる。



1か月平均 500hPa 予想天気図
(図の見方は1, 2週目と同じ
ただし平年差の間隔は30m 毎)



1週目平均 500hPa 予想天気図

2週目平均 500hPa 予想天気図

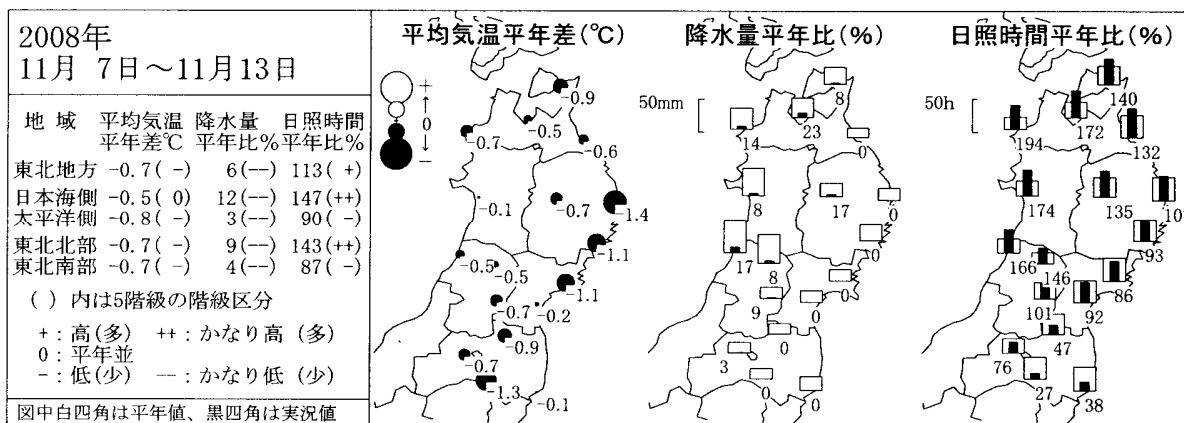
実線は、等高度線（間隔 60m）、点線は、平年差（間隔 60m）

陰影部は、負偏差で一般に寒気に対応する 白抜きは、正偏差で一般に暖気に対応する

4. 最近1週間（11月7日～11月13日）の天候の経過

期間の前半は、前線や寒気の影響により東北日本海側を中心に曇りの日が多く、雨や雪となったところもあった。期間の後半は移動性高気圧の影響で東北北部を中心に晴れの日が多かったが、日本の南海上の低気圧の影響で、東北南部では曇りの日が多かった。

平均気温は東北日本海側で平年並、東北太平洋側で低い。降水量は東北地方でかなり少ない。日照時間は東北北部でかなり多く、東北南部で少ない。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）